

厳しい市場環境を踏まえ 具体的提案を繰り返し、 真摯な物作りで 時代に即した多彩な新商品を！

08 年頭の所感

あけましておめでとうございます。

昨年は、過度の投機熱による『原油の異常高値』やアメリカにおける低所得者向け住宅ローン『サブプライムローンによる不良債権の拡大』、急激な経済成長による中国国内の『環境破壊』や『偽物ブランド・健康有害商品による輸入国の被害拡大』が進む中、日本では『参議院議員選挙による保守自民党の惨敗』、『突然の内閣総理大臣の辞任』、『防衛省における官民癒着疑惑』といった政局の混迷、身近な問題では食品業界、建設業界を中心に『製造業における不正表示』といった社会的信用を失墜させる不祥事が連続して発生した年でした。

これらの出来事の共通点として、過度の経済最優先（利益至上主義）により、社会的責任を果たすという意識・マインド・行動が軽視されつつあるとも感じられます。改正消安法、改正建築基準法が施行された背景には、そうした経済最優先への警鐘と言う側面もあると思っています。今日の製造に携わる企業の多くは、『お客様満足度第一主義』を掲げていますが、その根底に安全・安心を最優先とする企業としての社会的責任意識・行動が十分に備わっているのか否か、改めて問い直す必要があると思います。

一方、新築住宅着工件数は若年人口の減少に伴い漸減し始めました。

又、改正建築基準法の施行による大幅な新築住宅着工数減が、本年度初頭より、エクステリア需要に大きな影響を与えてくると予想されます。

来るべき厳しい市場環境を踏まえ、我々エクステリア市場に携わっている者としてやるべき事は、販売の原点である、市場への愚直なまでの具体的提案の繰り返し、そして、あくまで品質第一主義に徹した、真摯な物作り、施工、アフターサービスであろうと考えます。

成熟産業の領域に入りつつあるエクステリア業界では有りますが、生活者への外部空間に対するニーズもまだまだ潜在的なものも多く、我々の知恵と工夫でいくらかでも顕在化させる事が出来ると信じております。

この様な背景の元、弊社は「空の下に自在空間」をキーワードとして「ミューテリア」（外部空間と内部空間の同期化による新しい生活提案）と「高品位」を掲げて戦略化を組んでまいりましたが、それを更に発展させて、本年度は、産学共同開発による「ユニバーサル設計」商品、異業種と連携した「ブランドデザイン」商品、新感覚色調の「カラー」商品等、時代に即した多彩な商品投入と併せて、提案力を高めるソフト面も充実してまいりますので、昨年と同様変わらぬご愛顧ご支援賜りますようお願い申し上げます。

エクステリア業界は、「物作り」、多岐にわたる商品群の「アッセンブリ」、「施工」の三位一体がうまく機能してユーザーに喜ばれる産業で有ります。

本年も流通の皆様方と手を携えて業界の品質向上と新しい価値創造に邁進したいと思います。最後に、2008年が皆様様にとって素晴らしい年になることをお祈り申し上げます。



エクステリア
建材事業本部長

永田 等